

ふらっとホーム in 豊平区

市民と市長の2時間談議

市民と市長がまちづくりについてざっくばらんに話し合う「ふらっとホーム」を昨年10月27日(土)に豊平区で開催しました。このページでは、その模様をお伝えします。皆さんもまちづくりについて一緒に考えてみましょう。



まちづくり活動をみんなでするために

『まちづくりに関していろいろと市や区がやっていますが、実際の活動では定年退職した人が主力となっているのが現状ですね』

市長から

『まちづくり活動の中心は、退職されたご高齢の皆さんと、専業主婦の皆さんです。その方々の手を借りなければ、具体的な行動は起こせません。その実践している方々と、参加するきっかけがないという方が、どうすれば一緒に活動できるかが重要で、みんなが集まって活動できるような新しい提案・企画が必要だと思います。若者の知恵を借りて、アイデアを出してもらいましょう。その結びつきを作るため、まちづくりセンターを中心として努力をしていかなければならないと思います』

ボランティア体験で社会教育

『教育はすごく大事ですね。小学生のうちから、ごみ拾いや、高齢者の手伝いをしたり一緒に行事をしたりといったボランティア活動をして、社会性を身につけられるといいと思います』

市長から

『豊平区では、中学生が地域のおじいさん、おばあさんに年賀状を書くなど、いろいろやっています。また、中学校による生徒会サミットがあり、各学校の生徒会が一堂に会して、ボランティアなどの取り組みを発表し、みんなで刺激合っています。効果は10年たたないと分かりませんが、見守っていただきたいと思います』

円山動物園にゾウを!?

『市内の動物園にゾウなどの大きな動物がいることは、子どもたちのためになると思います。ただ、施設のために20億円も掛けていいのかがよく分かりません』

『子どもの夢につながるものには取り組むべきではと思います。お金の話もあるので難しいですが、もしゾウが来たら大人も見たいだろうと思いますし、円山動物園のお客さんが増えればいいと思います』

市長から

『小さいときの経験というのはお金では買えません。子どもたちの情緒を育むためにはお金を惜しまない方がいい、という意見が半分より少し多いぐらいです。ゾウを飼うかどうか検討する中で、皆さんのいろいろなご意見をお聞きできればうれしいです』



ふらっとホームの内容をさらに詳しく知りたい方は、

豊平区ホームページ (www.city.sapporo.jp/toyohira/kuseijouhou/flathome2012/index.html) をご覧ください。

詳細 内容に関するお問い合わせは、区役所総務企画課広聴係 ☎822-2407 FAX813-3603
事業に関するお問い合わせは、市役所市民の声を聞く課 ☎211-2045 FAX218-5165